

24 陳情 第31号	新宿区立大久保幼稚園の今後のあり方に関する陳情
付託委員会	文教委員会
受理及び付託 年 月 日	平成24年9月13日受理、平成24年10月2日付託
陳 情 者	新宿区戸山————— ————— 代表者 —————

## ( 要 旨 )

区立大久保幼稚園の今後のあり方については、保護者・区民の意見を十分に聞き、拙速に進めることのないようお願い致します。

## ( 理 由 )

新宿区は「子どもを育てやすい街づくり」を目指していると理解しています。しかし、平成24年8月に新宿区教育委員会がとりまとめた区立幼稚園のあり方見直し方針(案)の中では区立幼稚園4園の廃園が打ち出され、大久保幼稚園が廃園対象となっています。また、9月3日に区より説明がありましたが、一方で10月中旬には「平成25年度園児募集案内」に廃止園名を掲載するとしています。結論を急がずに保護者や地域住民等の意見に耳を傾けて頂きたいと思っております。

- ・特色のある幼稚園で、区長の掲げる「多文化共生」が実現しており、在園児56%が外国にルーツがある子ども達(全9か国)で、外国人の受け皿的、園になっています。
- ・学期途中での入退園が多く、中途入園児への受け入れもスムーズにいき、いじめには発展しません。また、卒園生も転校生に対し違和感なく接していると聞いています。
- ・十数年以上の年月を経て現在の多文化共生、差別や偏見のない幼小になってきました。そのつちかかってきたことで現在は園からの月予定表は母国語を用いて外国人にも滞りなく対応ができ、入園当初で日本語のわからない子どもや、保護者への説明も通訳を通し、やさしい対応により、自然に友達ができ、徐々に日本語の習得もできています。
- ・平成23年度の併設小学校との全国学習教育研究協議会では、モデル校・園として全国から700名あまりの教職員が訪れています。本年度も11月に同協議会が予定されており、多数の問い合わせがきています。